

『環境と人体 III 窒素酸化物』

春日 斉・松木秀明：第 6 章 2 節「交通公害としての窒素酸化物の影響, p.210-225」を担当, 1984 年, 東京大学出版会, 3800 円。

『Annual Review 呼吸器 1987』

春日 斉・松木秀明：第 6 章 2 節「交通公害としての窒素酸化物の影響, p.210-225」を担当, 1986 年, 中外医学社。

『Environmental Carcinogens Methods of Analysis and Exposure Measurement』

Hitoshi Kasuga, Hideaki Matsuki：「Method 19-Determination of Hydroxyproline in Urine Using an Automated Analyzer, p.345-352」, 1987, International Agency for Research on Cancer and World Health Organization.

『保健・医療・福祉の総合年鑑 WIRA' 92』

阿部正和・幸田正幸・羽田春冤・三浦文夫総監修, 松木秀明：「室内空気汚染, p.451-452」を担当, 1992 年, 日本医療企画。

『からだの科学 呼吸器の病気』

吉良枝郎編集, 滝沢敏夫・松木秀明：「生活環境の変化と呼吸器の病気, p.50-53」を担当, 1993 年, 日本評論社 からだの科学 168 号。

『保健・医療・福祉の総合年鑑 WIBA' 93』

阿部正和・幸田正幸・中原爽・村瀬敏郎・三浦文夫総監修, 松木秀明「室内空気汚染, p.484-485」を担当, 1993 年, 日本医療企画。

『Measurement of Atmospheric NO₂ Concentration in Antarctica using NO₂ filter badge and tube 』

Hideaki Matsuki, Kenji Yoshikawa, Yukio Yanagisawa, Hitoshi Kasuga, 1996, Antarctic Environmental Research Expedition Organizing Committee, p121-134, 非売品。

『日本の大気汚染の歴史』

公害健康被害補償協会編, 氷見康二・渡辺征夫・松木秀明：「第 3 章 大気汚染の影響；人体影響, p.163-169」を担当, 2002 年, 丸善, 1085 頁, 18000 円。

『看護学学習辞典 第 2 版』

大橋優美子ほか監修, 松木秀明：公衆衛生学分野である「環境保健：オゾンホール、ハウ

スダスト、換気、人口統計：保健統計、国際疾病分類、マススクリーニング、衛生行政：高度先進医療、地域医療計画、治療共同社会、ライフサイエンス、ヘルシンキ宣言」などの分野を担当，2002 年，学習研究社，1400 頁。

『日本臨床 広範囲 血液・尿化学検査，免疫学的検査 第6版』
松木秀明・川野吉郎：「第IV編 生化学的検査 j. 産業医学関連物質 7. ダイオキシン，p.498-501」を担当，2005 年，日本臨床社。

『看護学学習辞典 第3版』
大橋優美子ほか監修，松木秀明：公衆衛生学分野である「環境保健：オゾンホール，ハウスダスト，換気，人口統計：保健統計，国際疾病分類，マススクリーニング，衛生行政：高度先進医療，地域医療計画，治療共同社会，ライフサイエンス，ヘルシンキ宣言」などの分野を担当，2008 年，Gakken，1732 頁，6380 円。

『室内環境の事典』
室内環境学会編集，松木秀明：「日本における室内環境問題の変遷，p.1-2」を担当，2023 年，朝倉書店，439 頁，12000 円。